
入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

システム工学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

(1) 知識・技能

- ・これまでの学びを通して大学入学後の複数の科学・技術領域を見通し、情報教育を基盤として複合的に工学系分野の専門を学ぶための基礎となる学力・技能、特に理数系における確かな知識を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・課題を解決するための思考力・判断力を有する人
- ・意見や考えを他者や社会に分かりやすく伝えるための表現力を有する人

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・他者を尊重し、その意見を受け入れる柔軟性、協調性を有する人
- ・何事にも好奇心・探求心を持ち、創造力を身につけようとする真摯な態度を有する人

【入学後の期待】

入学後には、自ら学び考える力を持ち、次の観点から、学術・産業研究を含む広範な工学系分野で活躍する自律的な技術者を目指すことを求める。

- (1) 自分自身の思い描くキャリアパスを客観的に考え、それに応じた2つのメジャーを選択すること
- (2) 情報技術に関する基礎知識・技能と、メジャーが提供する専門知識・技能を主体的に修得し、時代や社会が求める実践的な力を身につけること
- (3) 異なる知識や技能を、断片的にではなく体系化して身につけ、課題を解決する能力へと高めること
- (4) 課題解決に向けて、他者と協働して取り組む能力や意見や考えを論理的に伝えるコミュニケーション能力を身につけること
- (5) 広範な視野で専門をより深化させ、産業や社会のニーズに即応できる実践力と創造性を養うこと

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 一般選抜（前期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、数学的思考力と英語の理解力を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (2) 一般選抜（後期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (3) 学校推薦型選抜では、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、目的意識や学修意欲などを面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (4) 学校推薦型選抜(女子枠)では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を有し、「自ら取り組む意欲」が高く、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、「探究的な学習」等の取組みにおいて優れた研究を行い、また、発想力が豊かで行動力があると認められる者を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。

-
- (5) 私費外国人留学生選抜では、日本に留学するためになされた学びの成果を日本留学試験、出願書類、面接により評価する。あわせて、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、日本語運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。
 - (6) 第3年次推薦編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する基礎学力や専門に対する適性を面接と出願書類により評価する。あわせて、目的意識や学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。
 - (7) 第3年次一般編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識などを学力検査により評価する。あわせて、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識・技能や目的意識、学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。

令和7年度 和歌山大学システム工学部学校推薦型選抜(女子枠)学生募集要項

本学部においては、学校長からの推薦に基づき、面接(口頭試問を含む)及び調査書等を資料として判定する学校推薦型選抜(女子枠)を実施します。なお、大学入学共通テストは課しません。

1. 募集人員

| 学 科 | 募集人員 |
|---------------|------|
| シ ス テ ム 工 学 科 | 10名 |

合格者が募集人員に満たない場合には、その差の募集人員を前期日程の募集人員に含めて募集します。

2. 出願資格

次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす女子

【基礎資格】

次の各号のいずれかに該当する女子

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者

【要件】

次のすべてに該当する女子

- (1) 出身学校長が責任をもって推薦できる者
- (2) 調査書における数学(数I、数II、数A、数B)及び理科(物理、又は化学)のそれぞれの評定平均値が3.5以上である者
ただし、数IIIおよび数Cについては、履修又は履修見込みであること
※旧教育課程履修者(高等学校(中等教育学校の後期課程並びに特別支援学校の高等部を含む。)に令和4年4月に入学し、令和7年3月に卒業見込みの者以外の者)は、数Cの履修を要件としない
- (3) 「総合的な探究の時間」又はそれに相当する学習において得られた実績や経験を本学部での学びにつなげる強い意欲を持った者
- (4) 合格した場合、入学することを確約できる者

3. 出願手続

(1) 出願書類

| | | |
|---|-----------------------|--|
| ① | 志 願 票 | 本学部所定様式。志願票の裏面の所定欄に、検定料納入の際に金融機関又はコンビニエンスストアから交付される「振込金受付証明書(C票)」又は「収納証明書」を貼付してください。 |
| ② | 受 験 票 ・ 写 真 票 | 本学部所定様式。写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。 |
| ③ | 志 望 理 由 書 | 本学部所定様式。志願者の自筆に限ります。文章だけで説明できない場合は、文章に加えて作品又は資料を添付することができます。 |
| ④ | 学 修 計 画 書 | 本学部所定様式。 |
| ⑤ | 「総合的な探究の時間」等に関する活動報告書 | 本学部所定様式。図表(手書きでも、別紙に印刷したものを貼付しても可)を用いても構いません。 |
| ⑥ | 推 薦 書 | 本学部所定様式。出身学校長が作成してください。要件確認のため、数学IIIおよび数Cの履修状況について、該当するものにチェックを入れてください。 |
| ⑦ | 調 査 書 | 「令和7年度大学入学選抜実施要項」で定める調査書の様式で出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。高等専門学校については、調査書に準じて作成してください。 |
| ⑧ | 宛 名 票 | 本学部所定様式。 |
| ⑨ | 「受験票在中」封筒 | 本学部所定封筒。志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手370円分を貼付してください。※郵便料金が改定された場合は、改定後の速達定形郵便物(25g以内)の郵便料金分の切手を貼付してください。 |

| | | |
|---|-----------------|--|
| ⑩ | 「合格発表掲示(写)在中」封筒 | 本学部所定封筒。志願者の学校の郵便番号・所在地・学校名・本人氏名を明記してください。 |
| ⑪ | 入 学 検 定 料 | 17,000円(下記のいずれかの方法で納入してください。) |
| | 【金融機関】 | 別添の振込依頼書により金融機関の窓口にてお振込ください。 |
| | 【コンビニエンスストア】 | 下記の支払期間中にお支払いください。 支払方法等につきましては、必ず下記ホームページでご確認ください。 【支払期間】 令和6年10月1日(火)午前0時～令和6年11月6日(水)午後3時まで 【支払方法等】 https://e-shiharai.net/ (右のQRコードからもアクセスできます) |



(2) 出願期間

令和6年11月5日(火)～11月7日(木)の午後5時【必着】

(3) 出願方法

- ①出願書類は、志願者が1名の場合でも出身学校長の責任において、「書留・速達」にて郵送してください。封筒は各校で用意し、表面に「システム工学部学校推薦型選抜(女子枠)願書〇名分在中」と朱書きしてください。なお、志願者個人からの出願は受理しません。
- ②志願者の出願書類は個人ごとに「出願書類在中」封筒に封入し、各校の封筒に入れてください。
- ③作品又は資料を添付する場合には、出願書類とともに郵送してください。作品は破損しないように梱包してください。万一作品に破損や汚れが生じても本学は責任を負いません。(「学校推薦型選抜(女子枠)志望理由書記入要領」を参照)

(4) 受験票の送付

受験票は、大学において受験番号を決定の上、試験期日の1週間前を目途に発送する予定です。

(5) 出願書類等の提出先及び問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課システム工学部係 電話 (073)457-8021(直通)

4. 出願に関する注意事項

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。
ただし、システム工学部学校推薦型選抜(女子枠)に出願し不合格となった者が、システム工学部学校推薦型選抜に出願することは可能です。
- (2) 出願書類に不備があるときは、受理できないことがありますので、十分点検の上、提出してください。
- (3) 出願書類は正確に記入してください。記入事項に偽りがあった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願後は、書類記載事項の書き換えは認めません。ただし、出願後に住所・受信場所に変更があった場合は、直ちに届け出てください。
- (5) 出願書類は、受理後、いかなる理由があっても返還しません。

5. 入試方法等

面接(口頭試問を含む)の結果及び出願書類により総合して行います。

(1) 配点

| 学 科 名 | 面接・出願書類 |
|---------|---------|
| システム工学科 | 600 |

(2) 入試期日及び実施場所

| 期 日 | 教科・科目 | 場 所 |
|-----------------------------------|-------|---------|
| 令和6年11月30日(土) 予備日：令和6年12月2日(月) | 面 接 | システム工学部 |

※自然災害等により11月30日(土)に実施できないこととなった場合、予備日に試験を実施します。

その場合は、下記の和歌山大学システム工学部SNS及び和歌山大学システム工学部ホームページにてお知らせします。(SNSに書き込みをいただいても返信はいたしかねます)

システム工学部 SNS(X) : @sysWakayamaUniv

システム工学部ホームページ : <https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/>

6. 受験上の注意

- (1) 本学受験票を必ず携帯し、本学係員の請求があれば提示できるようにしてください。
- (2) 受験票で指定した時刻に和歌山大学北1号館(システム工学部)玄関ホールに集合してください。集合時刻に遅刻した者は、受験を放棄したもものとして取り扱う場合があります。
- (3) 別途、受験上の指示が出ることがあります。

7. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、学校長を通じて出願前にあらかじめ事前相談の申請をしてください。また、期限後の不慮の事故等による負傷者についても、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

点字等受験上の特別な準備を必要とする者については、内容によっては対応に時間を要しますのでできるだけ早い時期に事前相談の申請をしてください。

(1) 相談期限

令和6年10月4日(金)まで

(2) 相談及び申し出方法

事前に下記相談先まで電話連絡のうえ、申請書及び必要書類(診断書(写)等)を提出してください。詳細な必要書類は申請時に指示します。

なお、場合により、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校等関係者と面談を行います。

(3) 問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課システム工学部係 電話 (073)457-8021(直通)

8. 合格者の発表等

(1) 発表日時

電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません

*令和6年12月6日(金) 午前9時

学校推薦型選抜(女子枠)合格者は、本学及び他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く)の前期日程・公立大学中期日程・後期日程の個別学力検査等を受験しても、合格者にはなりません。

ただし、特別の事情により入学を辞退する必要がある、当該出願者の推薦を行った学校長から令和7年2月18日(火)17:00までに「学校推薦型選抜(女子枠)入学辞退願」(様式任意)を提出し、本学の入学辞退許可を得た場合は、この限りではありません。

(2) 合否結果の通知等について

①合格者の受験番号をシステム工学部ホームページ(<https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/>)に掲載します。(掲載期間：合格発表日の午前9時から、1週間後の午後5時まで)

※掲載開始時刻は多少前後することがあります。なお、合格者発表直後は回線が混み合い、接続に時間がかかる場合があります。

また、推薦学校長あてに合格発表掲示の写しを郵便で送付します。

②合格者には、合格通知書及び「入学確約書」等関係書類を郵便で送付します。

③合格者で大学入学共通テストに出願した者は、「大学入学共通テスト受験票のコピー」を「入学確約書」と同時に送付してください。

④合格者については、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び受験番号並びに入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送付しますのでご了承ください。

9. 学校推薦型選抜(女子枠)に合格しなかった場合

(1) 本学部の学校推薦型選抜(女子枠)に不合格となった場合は、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜を受験することができます。

(2) 本学部の学校推薦型選抜(女子枠)に不合格となった場合は、本学部の学校推薦型選抜を受験することができます。

受験を希望する場合は、「①令和7年度 和歌山大学システム工学部学校推薦型選抜学生募集要項」に従い、出願手続を行ってください。

10. 入学手続

原則、郵送とします。入学手続の詳細については、選考結果通知の際に送付する『入学手続案内』でお知らせします。

(1) 入学手続期限

*令和7年2月18日(火)

17:00までに和歌山大学入試課に必着するように郵送してください。

ただし、15:00~17:00においてのみ窓口を設定し、持参による手続を受け付けます。

やむを得ない理由により上記期限までに手続ができない場合には、2月18日(火)17:00までに和歌山大学入試課(073-457-7117)に電話連絡があった者のうち、本学が認めた者に限り、2月19日(水)正午まで受け付けます。

(2) 入学手続に必要なもの

| | | |
|---|-----------|--|
| ① | 入 学 料 | 282,000円 (注) 入学料は本学所定の振込依頼書により、入学手続時までに納入してください。これについては、合格者に送付する入学手続案内で納入方法の詳細をお知らせします。 |
| ② | 受 験 票 | 「本学受験票」 |
| ③ | 合 格 通 知 書 | 本学より送付したものを。 |

※これらは、入学手続時に必要としますので、忘れないよう十分注意してください。

11. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 267,900円〈前期分〉 535,800円〈年額〉

上記記載の金額は、令和6年度のものであります。令和7年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

(注) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

12. 入学手続に関する注意事項

学校推薦型選抜(女子枠)合格者の以降の手続の取り方により、次のとおりとなります。

(1) 「入学手続を完了した者」

本学及び他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く)の前期日程・公立大学中期日程・後期日程の個別学力検査等を受験しても、合格者とはなりません。

(2) 「入学手続を完了しなかった者」

本学部の学校推薦型選抜(女子枠)合格者としての権利を消失します。

また、本学および他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く)の前期日程・公立大学中期日程・後期日程の個別学力検査等を受験しても、合格者とはなりません。

(3) 「『特別の事情』があり入学辞退が許可された者」

「特別の事情」がある場合に限り、推薦学校長を通じて令和7年2月18日(火)17:00までに本人、保護者、学校長が連署・捺印した「学校推薦型選抜(女子枠)入学辞退願」(様式任意)を提出し、入学辞退が許可された場合は、国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く)の前期日程・公立大学中期日程・後期日程の個別学力検査等の合格者選考の対象となります。

※入学辞退の許可を得ないまま、国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く)の個別学力検査等を受験しても、入学許可は得られません。

13. 入試情報の開示及び入試成績の本人開示

(1) 入試情報の開示

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

・ ホームページに開示

(2) 入試成績の本人開示

※合格者選考の対象とならなかった受験者への開示は行いません。

※受験票(原本)は、確認後に返却します。

①試験成績(得点・評価)

・開示方法等

◇受験者本人からの請求により開示します。

【窓口での受付】※申請受付当日の開示はできません。

申請書(本学所定様式)に記入のうえ、申し込んでください。

《請求に必要なもの》

a. 本学学校推薦型選抜(女子枠)受験票(原本)

【郵送による受付】

受験者が遠隔地等の理由による場合は、郵送により請求することも可能です。

請求する本学あての封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし、必要書類を同封のうえ、必ず受験者本人が郵便(特定記録)で申し込んでください。

《請求に必要なもの》

a. 長形3号の返信用封筒(簡易書留郵便料として460円分の切手を貼付し、受験者本人あての住所・氏名を明記したもの)

※郵便料金が改定された場合は、改定後の定形郵便物(50g以内)に簡易書留料金をあわせて郵便料金分の切手を貼付してください。

b. 申請書(本学所定様式)

c. 本学学校推薦型選抜(女子枠)受験票(原本)

◇開示時期……………令和7年5月から6月の2か月間(郵送必着)

窓口での請求の場合は同期間内の月～水曜日(祝祭日を除く)、9時～17時

◇開示場所(請求先)…学務課システム工学部係(下記問い合わせ先)

②調査書(成績評価及び出欠の記録)

・閲覧のみ可(開示時期・場所は試験成績の開示時期・場所に準じる。)

(3) 入試情報の問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課システム工学部係 電話 (073)457-8021(直通)

14. 個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

1. 出願書類等に記載された個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」、「入学手続」の入試業務、「入試の改善や志願動向等の調査・研究」、「その他の本学における諸調査・研究等」を行うために利用します。出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学に出願していることを、保護者等又は出身学校に連絡する場合があります。なお、入学者については、「入学者の受入準備」、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金業務、就職支援等)」、「授業料等収納業務」を行うために利用します。
 2. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、本学の受験番号及び大学入学共通テストの受験番号に限り、可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
 3. 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(授業料免除・奨学金業務等)」を行うために利用します。
 4. 一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して個人情報を提供します。
 5. 捜査機関等が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて、相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供します。
-

和歌山大学システム工学部入学案内

学生生活

入学案内

学部の紹介

近年、科学技術の急速な発展に伴い、様々な工業技術が高度化・専門化してきました。また一方で、複数の専門分野の成果を複合的・横断的に応用することが、新しい技術開発や地域産業の再生につながるようになってきました。つまり、現在社会において、「高度な専門性」と「複数の技術領域を見通す力」の両方が求められています。このような産業界や社会の要請に、より柔軟に対応できるように、システム工学部では、それまでの5学科を1つの学科(システム工学科)に統合し、10の教育研究課程(メジャー)を設けました。これにより、学生自らが将来を志向し、各自の興味や資質に見合った2つのメジャーを主体的に選択すること(ダブルメジャー制)でコースを構成し、複数の専門分野を学ぶことができるようになりました。

さらに将来に目を向けると、情報関連技術を基盤とする先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会であるSociety5.0に対応できる工学人材を創出することも求められるようになってきています。これを受けてシステム工学部では、令和5年度に、将来にわたる技術動向を精査して、メジャーを3つの大きな専門分野の括り(領域)に分類し、これまでの10メジャーを8メジャーに再編しました。主な特色として、情報教育を重視し、更なる充実を図るとともに、システム工学科で共通化しました。これにより、専門分野にかかわらず、情報技術をベースとした広範かつ柔軟な専門性を養うことができます。また、2年終了時に、学部のみで4年制に加えて、学部から大学院博士前期課程までの一貫教育である6年制に進む選択も可能としました。6年制では、より高度かつ実践的な専門教育を行うことにより、複数の専門技術を有機的に融合させて課題の解決に導く能力をさらに高めることができます。なお、再編後もこれまでどおり、ダブルメジャー制によって、領域にとらわれずに複数の専門分野について学修することができます。

以下に、各メジャーの教育目的とメジャーの組み合わせによるコースをいくつか示します。

・ロボティクスメジャー

ロボットなどに代表されるメカトロニクス機器を効率的に設計し安全に運用するための技術を身につけます。対象となる分野は幅広く、ソフトウェアからハードウェアまで、機械+電気+情報をバランスよく学びます。

・電子物理工学メジャー

物理学、光工学、電気電子工学、材料工学などの分野を扱います。物質科学に関する基礎を身につけた上で、フォトンクスやエレクトロニクスの材料開発から応用技術を学びます。

・化学メジャー

身の回りでは、原子や分子の結びつきにより生命活動や様々な物質・材料形成が行われています。このような生命活動に関わる物質や、身の回りの物質・材料の性質を理解し、その創造や性能の発現、産業への応用に関する技術について学びます。

・環境科学メジャー

環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

・建築・ランドスケープメジャー

環境に配慮した建築、インテリアデザインや都市計画、身近な自然景観や森林、様々なスケールや地域における環境と生活空間を対象として、自然と調和する技術や建築設計、地域づくりについて学びます。

・情報システムデザインメジャー

人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計・開発する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

・ネットワークコンピューティングメジャー

あらゆる人やモノがネットワーク接続されるデジタル社会において、人や社会を守り、新たな価値を創造する技能を身につけます。インターネットやモバイル通信だけでなく、センサを社会活用するIoT、情報セキュリティ、ネットワーク分析等について学びます。

・クロスリアリティ・情報デザインメジャー

現実世界と仮想世界(メタバース)が融合する時代に向けて、現実世界に働きかけるロボティクス、メタバースを実現するコンピュータグラフィックス(CG)、それらと人を繋ぐ仮想現実(VR)、拡張現実(AR)、ならびに情報デザインについて学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

| コース名 | メジャー名 | 期待される就職先 |
|------------|--------------------------------------|---|
| メカトロニクス | ・ロボティクス ・電子物理工学 | 機械、電機、自動車、精密機械、光学、医療応用機器、電子部品 |
| 知能機械システム | ・ロボティクス ・情報学領域から1つを選択 | 自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、情報通信産業、サービス産業 |
| ナノテクノロジー | ・電子物理工学 ・化学 | 半導体・電子部品、精密機器、化学・医薬品・化粧品、素材 |
| 先端情報ネットワーク | ・情報システムデザイン ・ネットワークコンピューティング | 情報通信産業を含む幅広い産業におけるソフトウェア・インフラ・AI・ネットワーク・セキュリティエンジニア |
| 社会情報システム | ・ネットワークコンピューティング ・クロスリアリティ・情報デザイン | 情報通信産業を含む幅広い産業におけるネットワーク・インフラ・AI・CG/VR/ARエンジニア、UX/UIデザイナー |
| 創造情報デザイン | ・クロスリアリティ・情報デザイン ・情報システムデザイン | 情報通信産業を含む幅広い産業におけるソフトウェア・AI・Web・CG/VR/ARエンジニア、UX/UIデザイナー |
| 環境デザイン | ・環境科学 ・建築・ランドスケープ | 公務員(土木、建築、造園)、建設・住宅、環境プラント |
| 環境化学 | ・環境科学 ・化学 | 化学・環境職公務員、環境プラント、化学メーカー |

○システム工学部では、スーパーサイエンスティーチャープログラムを設けています。これはシステム工学部卒業後、本学教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)に進学し中学校理科または中学校数学の教員免許の取得を目指すプログラムです。

学 生 生 活

1. 入学料・授業料免除

令和2年4月1日より、文部科学省による高等教育の修学支援新制度が始まり、本学は文部科学省より令和元年9月20日大学等における修学支援に関する法律(令和元年法律第8号)による修学支援の対象機関となる大学として確認いただいております。

このことにより、高等教育の修学支援新制度による奨学金がプラスされた入学料・授業料免除を実施します。詳細は、学生センターホームページ(授業料/経済援助ページ)をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>



2. 奨学金

日本学生支援機構奨学金(給付奨学金・貸与奨学金)

詳細は、学生センターホームページ(授業料/経済援助ページ)をご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/fee/>

3. 下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート・マンション等の斡旋は、和歌山大学消費生活協同組合専属提携店(073-456-4155)でも行っていますので、各自問い合わせてください。なお、平均的な物件の家賃は月額35,000~45,000円程度です。

4. ノートパソコンの準備

本学では、個人所有のノートパソコンを活用した授業が実施されています。また、履修登録やレポート及び論文の作成・提出など数多くの機会にパソコンとインターネットを活用しますので、入学までに各自でノートパソコンを必ずご準備ください。

なお、本学ではMicrosoftと包括ライセンス契約を結んでおり、Microsoft 365(Word, Excel, PowerPoint他)を在学中無償で利用することができます。また、学内には無線LANを整備していますので、在学中自由に利用することができます。

詳細につきましては、下記ホームページにて随時公開すると共に入学手続き時に改めて案内します。

https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/essential_pc/



5. 学生生活に関する問合せ先

| 問 合 せ 事 項 | 問 合 せ 先 |
|--------------|-------------------------------------|
| 入学料免除, 授業料免除 | 学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7128 |
| 奨学金 | 学生センター(学生支援課) TEL 073-457-7110 |
| ノートパソコンの準備 | 学術情報センター(学術情報課) TEL 073-457-7177 |